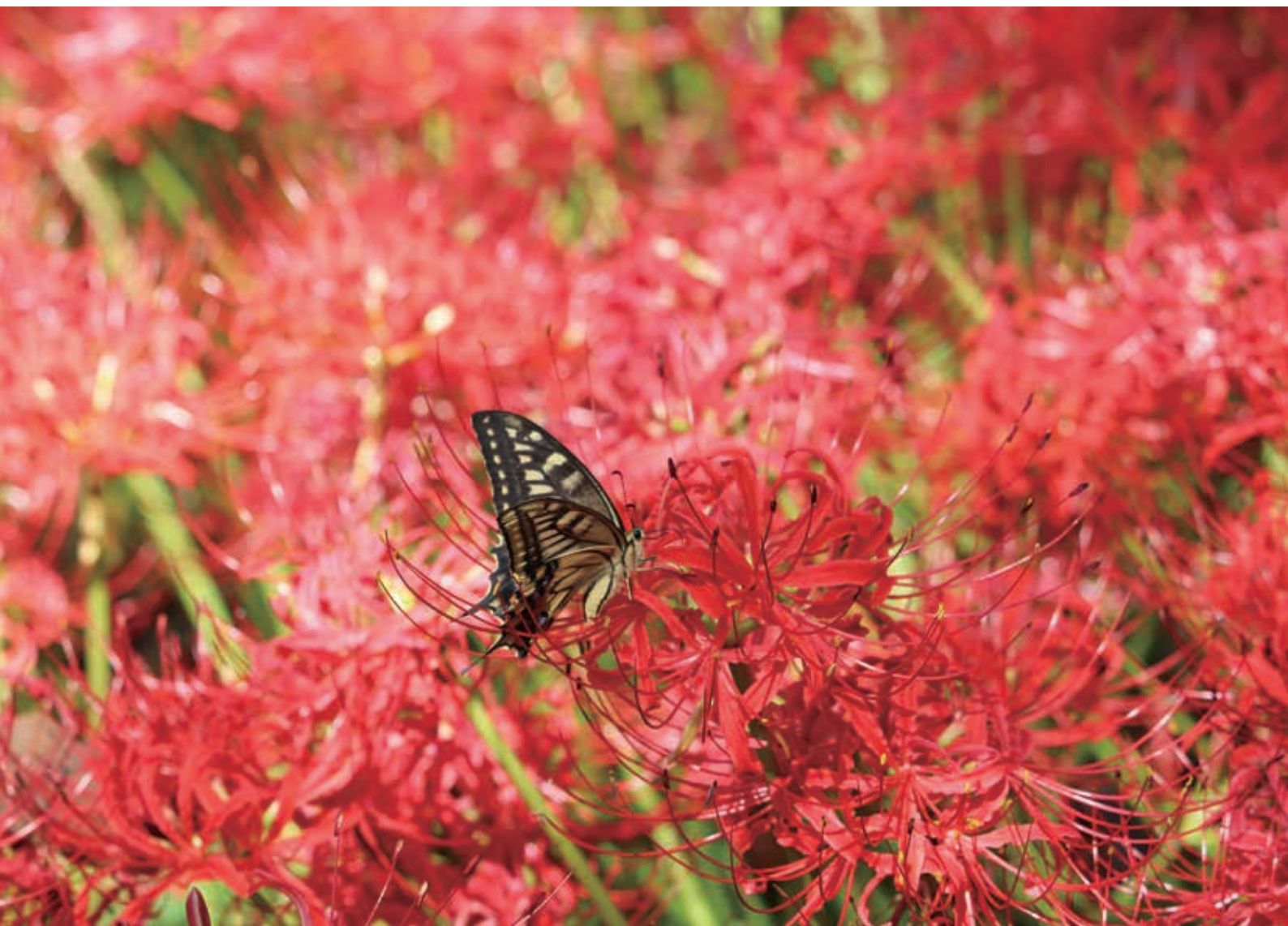


# 市議会だより さつて



曼珠沙華の美しさに誘われて  

## 9月定例会のおもなことから

- ・ 9月定例会議案 ..... 2～4 ページ
- ・ 各常任委員会での審査 ..... 5～7 ページ
- ・ 市政に対する一般質問等 ..... 8～15 ページ
- ・ 議決結果の一覧・編集後記 ..... 16 ページ

No.104  
2022年  
11月

# 令和3年度一般会計決算を認定

歳入総額 **195億4,824万円**  
(前年度比 14.2%減)

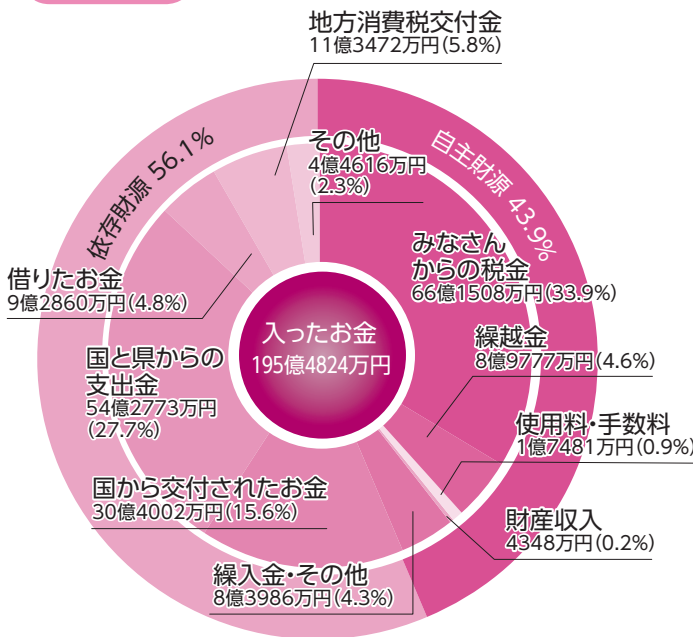
歳出総額 **179億9,289万円**  
(前年度比 17.8%減)

**形式収支額**  
**翌年度へ繰り越すべき財源**  
**実質収支額(決算剰余金)**

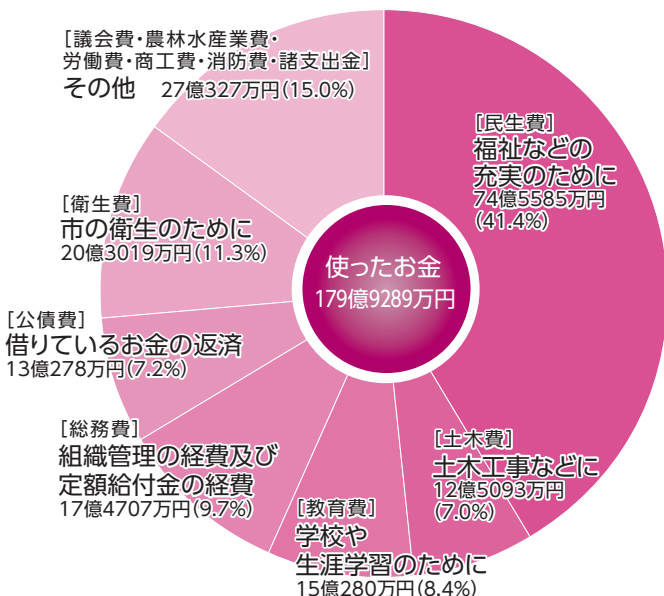
**15億5,535万円**  
**1億417万円**  
**14億5,118万円**

## 令和3年度一般会計の決算状況

### 歳入



### 歳出



### 歳入・歳出

令和3年度の歳入では、国と県からの支出金が54億2773万円となり、前年度にくらべ、9607万円、率にして42.39%の減となりました。

この減となりました。これは令和2年度において市民一人当たり10万円の特別定額給付金があったためです。歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種の推進、新生児特別

定額給付金の支給、米価下落の影響を受けている農業者に支援金の支給、ハッピーメール応援券の配布などが行われた。また、令和4年1月からは、市内循環バスの運行が開始されました。

### 9月定例会 令和4年第3回 幸手市議会定例会

令和4年9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開かれました。市長提出議案は、水道事業会計等の未処分利益剰余金の処分2件、令和3年度一般会計・特別会計決算の認定8件、条例改正4件、市道路線認定・変更2件、公の施設に関する協議1件、規約の変更1件、令和4年度一般会計・特別会計補正予算7件、人事案件1件の合計26件でした。審議の結果、いずれも原案の通り認定、可決、同意されました。一般質問は、13人の議員が市政をただしました。

### 一般会計・特別会計の決算状況

一般会計及び特別会計決算では、次ページ下欄にあるように歳入決算額から歳出決算額を引き、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額がすべて黒字でした。



令和4年9月定例議会  
本会議議案質疑内容

(議案第33号)  
令和3年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定について

**質疑**  
民生費の増加の要因と今後の見通しについて伺います。

**答弁**  
令和3年度の民生費の決算は、74億5584万8千円です。令和2年度と比べ9億5921万4千円、14・8ポイント増加しています。増加の要因は、国の緊急経済対策による子育て世帯への臨時特別給付金6億35万円、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金4億4770万円などの支出により、大幅な増加となったものです。

今後の見通しは、高齢化の進展により、介護保険特別会計に対する一般会計の繰出金など、高齢者福祉関係費が増加しているものと見込まれます。また、障害福祉費においても、障がい児通所給付費等が増加傾向にある

など、民生費全体として増加していくものと考えています。

**質疑**  
年度末の決算時におけるワクチン接種の接種総回数と総経費について伺います。

**答弁**  
接種総回数は、10万7204回です。内訳として、1回目目が4万2213回、2回目目が4万1663回、3回目目が2万3328回となっています。次に総経費ですが、令和3年度は6億4132万6192円の支出です。

(議案第37号)  
令和3年度幸手市農業集落  
排水事業特別会計歳入歳出  
決算の認定について

**質疑**  
汚泥処分業務委託について、汚泥の量、最終処分先を伺います。

**答弁**  
各家庭から排水に含まれたごみをスクリーンで除去したものをし渣といい、年3回処分しています。また、スクリーンを通り過ぎた排水は浄化処理され、処

理水は水路へ放流されますが、この過程において生じた汚泥を毎月1回搬出していきます。令和3年度のし渣は710kgは産業廃棄物として北本市にある処分場へ、汚泥は296トンを本市管理のひばりヶ丘桜泉園に搬出していきます。

(議案第38号)  
令和3年度幸手市幸手駅西口  
土地区画整理事業特別会計  
歳入歳出決算の認定について

**質疑**  
今年度は収入総額が4億194万6095円、支出総額が3億1435万1242円という現状を踏まえ、今後の区画整理事業の見通しとお考えを伺います。

**答弁**  
国庫支出金の動向を注視し、より有利な交付金制度を活用できるように、財源の確保に努めながら進めてまいります。今後の区画整理事業の見通しについては、地権者の方々と調整を図りながら、都市計画道路西口停車場線、都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線及び駅周辺の整備を優先して行つてまいります。

令和3年度一般会計・特別会計の決算状況

(単位：円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計	19,548,243,285	17,992,891,916	104,170,000	1,451,181,369
国民健康保険特別会計	5,958,768,244	5,802,478,099	0	156,290,145
後期高齢者医療特別会計	689,242,682	682,665,380	0	6,577,302
介護保険特別会計	4,211,816,179	3,982,088,810	0	229,727,369
農業集落排水事業特別会計	41,658,766	38,085,041	0	3,573,725
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	401,946,095	314,351,242	0	87,594,853
水道事業会計(収益的収支)	1,049,217,247	957,409,927	0	91,807,320
公共下水道事業会計(収益的収支)	680,233,450	657,558,480	0	22,674,970

※水道事業会計及び公共下水道事業会計は税抜きです。

(議案第49号)  
令和4年度幸手市一般会計  
補正予算  
(第5号)

質疑

補正額11億5118万1千円の内容について伺います。

答弁

令和3年度決算における実質収支額は14億5118万1千円となりました。令和4年度予算における前年度繰越金については、当初予算で3億円計上してあります。従い、実質収支額との差額となる11億5118万1千円を今回の補正予算に計上するものです。

質疑

交付金のうち返還する必要があるものについて伺います。

答弁

今回の補正予算で第22節償還金利子及び割引料に計上している補助金精算返還金は、令和3年度に交付を受けた国県支出金に対し、事業費の確定に伴って返還するものです。合計いたしますと2億5543万5千円となります。

(議案第33号)  
令和3年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定について

賛成討論

四本 奈緒美

令和3年度幸手市一般会計歳入歳出決算において実施された施策を見ますと、次亜塩素酸水生成器等購入事業は、本庁舎とウエルス幸手、市内全小中学校に機器を設置し、新型コロナウイルス感染症の予防が出来た事を評価します。

交通安全対策事業として、第2保育所前道路の整備は、交通事故を防止し、児童・保護者の安全と命を守ることが出来たと大いに評価をします。

がん検診推進事業は、新型コロナウイルス感染症の不安のために受診を控える市民に対し、検診日の追加をした事は、市民の健康と安心を守る事が出来たと評価します。

新生児聴覚スクリーニング検査費用の助成事業は、聴覚障害の早期発見、治療につなげる事が出来たと評価します。

農業経営者支援事業は、米価の下落に伴い農業収入が減少する農業者を支援することが出来たと評価します。

防災ハザードマップ作成事業は、洪水・地震ハザードマップを更新。マイタイムラインを添付し、全世帯に配布された事は、市民の防災意識の向上につながったと大いに評価をします。依って、公明党は賛成討論とします。

賛成討論

武藤 壽男

令和3年度は、コロナ禍の中で各種行事や事業が中止変更され、主にコロナワクチン接種事業や地方経済対策、生活支援のための、地方創生臨時交付金事業が実施されました。

一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額約195億円、歳出決算額約180億円、実質単年度収支は、9億7296万円の赤字でした。

歳入の43・8%の自主財源の主な市税は66億円、56・2%の依存財源では、地方交付税約30億円、国庫支出金は、約43億円でありました。

歳出は、概ね民生費が75億円、衛生費は20億円であり、内新型コロナウイルスワクチン接種事業は、総額6億4132万円、延べ10万7204回の接種が行われました。生活、経済対策支援のための交付金事業

3億1518万円が実施されています。

義務的経費が89億円と歳出の49・3%を占め、投資的経費は、歳出の僅か2・4%の4億円となり、今後は積極的な事業推進をお願いいたします。

財政調整基金は約10億円であり、緊急時に備える基金残高としては、厳しい状況にあります。多くの課題が山積し適正な市債と国庫支出金等を充分活用し、計画的な財政運営を求め、賛成討論とします。



人事案件

教育委員会委員

会田 研司 氏

を任命することに同意しました。



総務常任委員会

令和3年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定  
(議案第33号)

**問** 臨時財政対策債の算出方法と償還年数は。

**答** 市で算定台帳を作成し、国が決定した単価等を用いて、算定に掛かる基礎数値等を、県に報告しながら実数の積み上げ作業を行い、最終決定は国が行う。償還年数は、20年とし、10年経過時に利率の見直しを行い、借り直しをしている。

**問** 公共事業等に使われる市債よりも、臨時財政対策債が多くを占めている状況は。

**答** 臨時財政対策債は、本来であれば交付税措置されるものを、地方公共団体が特例として借金をする国の制度である。可能であれば、地方財政収支の不足を交付税で措置して頂きたいと、知事会にも要請している。しかしながら、臨時財政対策債を減らすことを優先してしまいい、交付税総額が確保されないという事態が起きてしまうと、

地方財政が厳しくなってしまうため、状況が許す限り回避しながら、交付税に移行することを望んでいる。

**問** 臨時財政対策債の元金と利子の内容は。

**答** 元金は、7億2955万5842円、利子は1847万173円である。

**問** 会計年度任用職員の報酬と不用額は。

**答** 当初予算で、110人で計上した。年度途中で辞職や業務を行うなかで、更に人数を増やすなどの増減がある。当初予算の積算における単価の差異による差額や、休暇取得による支給額の減少、職員に欠員が生じたときに採用が出来るよう、予備として予算を積算しているが、その支出がない場合などの理由により、不用額となる。

幸手市職員の育児休業等に関する  
条例及び幸手市職員の勤務時間  
休日及び休暇に関する条例の一部を  
改正する条例  
(議案第41号)

**問** 令和4年4月1日から、育児・介護休業法が改正され施行されているが、幸手市は職員にどのような周知をしているか。

**答** 「職員のための子育て応援ハンドブック」があり、妊娠から子育ての期間に利用できる制度についてまとめたもので、条例の一部改正によって、令和4年4月改定版として職員に周知を行い、いつでも閲覧することが出来る環境にしている。職員から妊娠や出産の報告を受けた際には、出産・育児をサポートする制度や情報、休暇制度や給付制度の周知も併せて行っている。

幸手市職員の定年等に関する  
条例等の一部を改正する等の  
条例  
(議案第42号)

**問** 定年延長となった時の退職金はどのようなものか。

**答** 60歳までの部分については、退職時の役職を基準とした、ピク時特例によって計算される。その後、60歳から65歳まで勤務した場合、その期間を7割水準で計算をして、双方を併せて65歳で退職手当として支払いされる。

令和4年度幸手市一般会計  
補正予算(第5号)  
(議案第49号)

**問** 新型コロナウイルス感染症対策 地方税減収補填特別交付金が860万円減額した理由は。

**答** 中小企業者の生産性革命の実現に向けた固定資産税の減額の特例措置で、生産性向上に取り組む中小企業者の支援で将来の成長を下支えする制度。当初予算を900万円見積りしたが、1件のみの申請であった。この1件の申請が、先進技術ということと機械を入れることになったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、半導体不足等により当初の計画から納期が遅れ、1つの機械だけが対象となり、もう一方の機械とその機械を格納する家屋については今回の減税の対象外となってしまう減額となった。

**問** 旧香日向小学校体育館トイレ改修工事の内容は。

**答** 地元の地区の代表区長をはじめ防災関係の団体の方、またスポーツ関係の団体の方等から要望が寄せられた。まずは、男子トイレの和式を洋式に改修し、手洗い器を自動水栓化に改修する。

## 文教厚生常任委員会

**令和3年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定  
(議案第33号)**

**問** 空き家対策応急措置業務委託料の内容は。

**答** 2件あり、1件はハチの巣で近隣住民に被害が出る可能性があることから、シルバー人材センターに撤去を依頼。もう1件はトタン屋根が剥がれそうで危険であることから市が撤去した。いずれも身体・生命に危険が及ぶということで市が撤去等を行い、所有者に費用を請求するものである。

**問** 運転免許証自主返納者支援業務委託料の内容、交付者数は。

**答** 運転免許証を自主返納した段階で満70歳以上の方を対象に、申請者に対し、タクシー初乗り運賃を助成する10枚綴りの券を交付している。交付から1年間有効で、令和3年度は183名に交付した。

**問** 保険福祉総合センター管理委託料の不用額が発生した理由は。

**答** 年間を通じて休館となった天神の湯の管理運営委託料の変更契約で執行残が生じた。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種関係で、集団接種に協力いただいた医師数と支払総額は。

**答** 延べ206名で、基本的には1回の接種当たり国の基準で2277円支払われる。また、市では3時間で4万円の委託料を支出。医師会及び直接支払い総計は3億2560万4823円である。



**問** 市立幼稚園児・児童・生徒災害共済給付金428万8592円の給付状況は。

**答** 日本スポーツセンター共済給付金で、小学校113件、中学校60件が支払われた。



**埼玉東部消防組合の規約  
変更について  
(議案第48号)**

**問** 負担金の算出方法が、組合発足当時の直近3年間の決算額から普通交付税に係る消防費基準財政需要額の割合に変わった理由は。

**答** 改正前の組合当初の規約の中では、11年目以降の負担金については、基準財政需要額を基本とするとなっている。その考え方により改正するものである。なお、試算結果では、当市の負担額は約1億4千万円下がることになる。



**令和4年度幸手市一般会計  
補正予算(第5号)  
(議案第49号)**

**問** 自治振興費のハピノリ応援シヨップ補助金の内容は。

**答** 市内循環バスハッピー乗り降り事業は、市内循環バスの利

用促進を図るため、すでに行っている事業である。更に基盤強化を図って行きたいと考え、1日乗車券を購入された方に対して200円分のクーポン券を発行し、応援シヨップ登録店は集まったクーポン券を市に申請し、補助金を交付する事業を実施したい。循環バスを使ってみよう、応援シヨップに登録しようという取り組みにより事業の基盤強化を図りたい。

なお、クーポン券交付期間は11月から12月まで、お店で利用できる期間は年明け1月までを想定している。



(応援シヨップのステッカー)

**問** 災害対策費の道路洗浄清掃業務委託料を増額補正する理由は。

**答** 7月12日の大雨で道路冠水が複数発生。事後洗浄で予算を使い切り、今後に向けて増額するものである。



建設経済常任委員会

**令和3年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について**  
(議案第31号)

**問** 水道事業剰余金処分計算書において、資本金への組入れと建設改良積立金の積立てへと、振り分けているが、その考え方は。

**答** 振り分けの考え方は、9180万7320円のうち、営業外収入のうちの現金の裏づけがない長期前受金戻入額の7247万6692円を資本金へ組み入れ、その残額である1933万628円を老朽管または、施設の改修を行うため建設改良費へ、それぞれ組み入れるものである。

**令和3年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定**  
(議案第33号)

**問** 農作物自動販売機購入費として693万6千円の補助金を支出したが、その成果内容は。

**答** 農作物自動販売機は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る対策として、農作物の非接触型の販売、購入経路を確保することができる販売機の購入、設置に係る費用について補助をした。設置台数は3台であり、費用は、合計で693万6千円である。売上げについては、令和4年3月19日から稼働開始し、令和4年8月末現在、3台の合計で57万2250円の売上で率としては、71・57%となる、効果としては、非接触型の販売経路の確保として、特にコミュニティセンターでの売上げが多かった。近隣スーパーなどに行かなくても、人とあまり接することなく農作物購入ができたと考える。

**令和3年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定**  
(議案第37号)

**問** 修繕料643万6100円の修繕内容は。

**答** 工事内容は4件である。舗装修繕工事、鉄溶液注入ポンプの修繕工事、農業集落排水処理場ナンバー1曝気攪拌装置の修繕工事、水中攪拌機の代替え機の設置工事の4件である。

**令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定**  
(議案第38号)

**問** 物件移転補償費4696万5491円のうち、家屋等損失補償の内容は。

**答** 家屋等損失補償については、調整池の工事を平成30年度から令和3年度まで行い、それに伴い、工事中に影響が生じた家屋等に補償費を支払っている。対象が2件、合わせて418万6538円となる。

**公の施設の利用に関する協議について**  
(議案第47号)

**問** 幸手団地までは、公共下水道が整備されているが、この場所は、杉戸町の公共下水道の方が近いことから、そちらに接続するということか。

**答** 当該地域は、市街化調整区域ですので、下水道計画はない。しかし、千石用水路を横断すれば、杉戸町の公共下水道に接続できる。今回お互いの議会で上程し、幸手市と杉戸町で可決した後に本格的な協議になる。

**令和4年度幸手市一般会計補正予算(第5号)**  
(議案第49号)

**問** 水稻肥料高騰対策補助金の内容は。

**答** 国際情勢や円安により肥料価格の上昇があり、また令和3年の米価下落により厳しい農業経営者に対して、肥料価格上昇相当分の一部を補助すること、経営安定化を支援する。補助内容としては、水稻作付面積10アール当たり交付単価4千円を乗じて助成するものである。



# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、13人の議員が9月2日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 坂本達夫議員

- 市の財源の有効活用と天神の湯について
- 電気自動車急速充電器について
- 物価高騰と給食費について
- 県営権現堂公園桜堤のサクラの保全について

### 四本奈緒美議員

- 買い物弱者支援対策について
- 吉田幼稚園跡地の有効活用について
- 家庭系燃やせるゴミの減量化対策について

### 小林英雄議員

- 生涯現役社会の実現について
- 大型車両交通規制について

### 本田謡子議員

- 河川の氾濫における幸手市の指定緊急避難場所と指定避難所について
- 幸手市の災害時応援協定について
- 防災に重要な「ファーストミッションボックス」設置について

### 松田雅代議員

- 市庁舎建設のあり方検討の進捗について
- 市の洪水対策強化について
- 「デジタル田園都市国家構想」への取り組みについて

### 大平泰二議員

- 治水対策について
- 神扇地区空き家問題について
- 安心・安全な水道水について
- 繰越明許費について

### 小林啓子議員

- 「デジタル推進室」の設置について
- 「パーソナル知育絵本」の導入について

### 小河原浩和議員

- 新型コロナウイルス感染拡大防止等についての市の対策について
- 吉田幼稚園の跡地問題について

### 青木章議員

- 新型コロナウイルス対応交付金について
- 中学校部活動の対応について

### 海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染状況について
- 危険な県道・市道について
- 市民人口減少防止対策等について
- 市民の足・循環バスの運行について
- 予想される災害対策等について

### 木村治夫議員

- 農業経営安定化支援事業について
- 市営釣場神扇池施設修繕事業について
- 杉戸町と幸手市の地域連携協定の実施内容等について

### 武藤壽男議員

- 市の道路、河川、水路等の維持管理について
- 幸手市下吉羽 350 番地外高圧太陽光発電事業に関する市の対応について

### 枝久保喜八郎議員

- 県営権現堂公園 2号公園について
- 教育問題について
- 農業問題について

## 9月定例会

傍聴者		
新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、傍聴を中止しました。		
議会インターネット中継のアクセス件数		
7月 72件	8月 19件	9月 2011件
の方が視聴されました。		

9月定例会 会期日程
9月1日(本会議)
・開会・会期の決定
・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
9月2日・5日・6日(本会議)
・市政に対する一般質問
9月12日(本会議)
・議案に対する質疑
・議案の委員会付託
9月13日・14日(委員会)
・文教厚生常任委員会
9月15日・16日(委員会)
・総務常任委員会
9月20日・21日(委員会)
・建設経済常任委員会
9月29日(本会議)
・委員長報告、質疑、討論、採決
・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。



## 市の財源の有効活用と天神の湯



坂本達夫議員

**Q** 市の行政課題は色々ある。本庁舎建替え、消防署建替え、道路整備、洪水対策など。しかし、市は、課題解決のための財源が不足している。

天神の湯の収支は、令和3年度は開館日数は0日であるが、管理光熱水費で、約2800万円の赤字。平成29年度は開館日数は346日であるが、約2600万

円の赤字。他の年度も同様に赤字。市は、天神の湯を廃止し、そこに投入した財源を市の課題解決に回すべきである。木村市長の所見を伺う。

**A** 天神の湯は「幸手市公 共施設個別施設計画」に

おいて、第Ⅱ期中に廃止することとしている。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館に始まり、その間に生じた設備の不良

により、令和2年12月27日の営業を最後に、休館を余儀なくされている状況にあるが、私からは担当部局に対して「個別施設計画」における将来的な位置づけを前倒しして、早期のうちに廃止することを前提とした検討を行うよう指示した。

(市長)

## 高齢者の買い物支援に移動販売車の導入を



四本奈緒美議員

**Q** 買い物に不自由を感じている高齢者から、移動販売車の要望の声が寄せられている。

そこで、市の75歳以上の単身世帯数、高齢者のみの世帯数と割合を伺う。

移動販売車が近所に来て、食べたい物、欲しい物を自分の目で見て選んで買う事が出来る。

家から出て人が集まれば、孤立・孤独を防ぐ事も出来る。地域の小さなコミュニティを作る可能性もある移動販売車の導入について、市の考えを伺う。

**A** 令和4年8月1日現在、

当市の75歳以上の単身世帯数は2539世帯、高齢者のみの世帯数は3613世帯である。全世帯数に対する割合は26・7%である。移動販売車の

導入は高齢者の買い物支援対策として有効な選択肢のひとつであると思われる。しかしながら、行政が単独で実施することが難しいサービスである。流通事業者等の動向を注視するとともに、事業者、行政及び住民が相互連携して買い物弱者支援に取り組めるよう調査研究していく。

(健康福祉部参事)

## 生涯現役社会の実現へシルバー人材センターの役割



小林英雄議員

**Q**

シルバー人材センターの活動は、社会参加や健康維持を含めた『生きがい就労』を基本としており、生涯現役社会の実現が求められる今、その役割は非常に重要と考える。

しかし、シルバー人材センターは、失業率の増加、会員の確保、施設の老朽化、導入される予定のインボイス制度による受注への

**A**

影響等、様々な問題を抱えている。こうした状況の中でも、社会保障費の抑制や、地域活性化にも貢献している、シルバー人材センターへの更なる支援を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的な就業、または軽易な業務を請け負っている。近年、定年延長により60代の会員登録が伸び悩んでいる。加えて新型コロナウイルス

ルスまん延の長期化、令和5年10月からのインボイス制度への対応など経営環境が厳しくなっている。高齢者の就労は、地域や社会との関わり合い生きがいづくりに大変有効であると考えられている。今後も地域から期待される魅力あるシルバー人材センターであるよう運営を支援して参りたい。

(健康福祉部参事)

## 避難所に重要な「FMB」の設置を



本田謡子議員

**Q**

「FMB」とは、避難所運営において、誰でも避難所を開設・運営できるように、初めに(ファースト)やるべき任務(ミッション)を記載した「避難所運営マニュアル」と、最低限必要となる用具や物品を入れた箱(ボックス)です。避難所運営初動作業を、誰でも先に来た人が3〜5人で中心

**A**

となり開設できるものです。公的な限界を知り、スムーズな開設の為に、FMBの設置を考えますが、市の見解を伺う。

避難所となる施設ごとに、開設に必要な用具や物品を入れたボックスは、設置しておりますが、これは市職員が使用することが前提です。また、初めにやるべき任務を記載した「避難所運営マニュアル」は、作成していません。「F

M B」の仕組みを導入するには、避難所運営について、地域のご理解とご協力が必要です。今後は、事例の検討も含め、避難所運営について具体的な協議を図れるよう、地域との連携をさらに深めます。

(市民生活部長)



夢のある庁舎建て替えを進めるために



松田雅代議員

**Q** 現市本庁舎は建築から55年が経過し、老朽化や安全性の観点から速やかな建て替えが求められている。

現在、庁内での整備方針が協議中であるが、夢のある庁舎建て替えを進めるには、将来人口を見据えた幸手市のフューチャーデザインをどう描くか、中長期財政をどう管理するか、財政の将

来シミュレーションの提示は不可欠と考える。  
庁舎建設で最も考慮すべきこと、財政の考え方を伺う。

**A** 庁舎建設で考慮すべき事項として、災害・環境対策、DXの推進、将来人口を見据えた適正規模などが挙げられる。

今後の基本構想策定業務において、他の公共施設の再編を含め、庁舎が有すべき機能、規模、

立地などについて具体的な検討を行う。

建設に向けた基金積立てを行うとともに、建設後の地方債償還を考慮し、世代間負担の公平性の確保や財政負担の平準化を図ることで、持続可能な財政運営を行えるよう事業を進める。

(市長・総合政策部長)

神扇地区空き家問題



大平泰二議員

**Q**

空き家対策特別措置法で定められた「特定空き家法」は危険性が高く、著しく衛生上有害となる状態で、適切な管理が行われていない空き家を対象としています。特定空き家に指定されると、指導、勧告、命令、に従わない場合、行政代執行となり、解体となりますが市の対策について伺います。

**A**

空き家対策特別措置法では、「市町村は所有者等による適切な管理を促進するため、これらの者に対し、情報の提供、助言その他必要な援助を行うよう努めるもの」と定めています。

そこで市の対策としては、神扇地区内の当該家屋に廃棄物を持ち込んだ行為者を探して、今後の管理について意思確認を行いたいと考えています。  
また、当該家屋の法定相続人

について調査を続け、法定相続人に対しても、状況の改善を働きかけてまいります。

(市民生活部長)



## パーソナル知育絵本の導入について



小林啓子議員

**Q** パーソナル知育絵本とは、子どもの年齢、言葉の成長状態に合わせて作成するオリジナルの絵本である。主人公を子どもの名前にしたり、好きな物を登場させたりすることで、言葉の理解発達を後押しし、絵本への興味・関心を高めることができる。

地域オリジナル版にすること

が可能で、幸手市独自の子育て支援事業になると考える。是非導入をしては如何かを伺う。

**A** コミュニケーションの希薄化や子どもの読書離れが危惧されており、乳児期からの読み聞かせや、親子でふれあう機会が、言葉の理解や発達を促すために重要な役割を果たすと考える。パーソナル知育絵本は、興味を示しやすく、親子でのコミュニ

ケーションを楽しむことができる。また、本に親しむきっかけとなり、読み聞かせを通じて子どもの感性が育まれ、考える力や発達を促すことにつながる。ことから、実施に向けて検討を進めているところである。

(健康福祉部参事)

## 吉田幼稚園の跡地問題



小河原浩和議員

**Q** 廃止決定から4年、市長就任から3年、廃園から半年が経過し、その検討の間は十分あったと思う。市長は、地元の意見を聞き、プロジェクトチームを作り、スピード感をもって取組むと答弁してきたが、いつまでに決めるのか。また、残されたピアノを「駅ピアノ」など有効活用する考えはないのか伺う。

**A** 今後の方針を早期に示すことも大切であるが、都市計画法等の法的な規制も含め様々な点を考慮した上で、個別施設計画に基づいて跡地の活用方法を考えていく。

まずは、現状分析をした上で、実態を踏まえ、どう展開していくか、できるだけ市民の皆様にご理解いただけるよう、色々な意見を伺いながらプロジェクトチームにおいて検討していく。また、ピアノについては、庁

内で活用方法を検討し、有効活用していきたい。

(市長)





## 中学校部活動の対応について



青木 章議員

**Q**

部活動は、心身をリフレッシュさせるだけでなく、仲間とともに自主的、自発的に行う活動が生徒に喜びと生きがいをもたらし、学校生活を豊かで充実したものにします。幸中93・2%東中91・2%西中86・9%の生徒が、なんらかの部活動をしているのは、素晴らしいことだと思います。幸手市と

**A**

しても全力応援をお願いしたいところですが、コロナ禍における県大会出場に対して補助金をお願いできないか。また、来年度以降の外部指導員等の対応についても併せて伺います。

コロナ禍における県大会に出場する際の補助金の交付につきましては、近隣市町の交付状況などを参考にしながら、検討して参ります。

来年度以降、外部指導者の導

(教育長)

## 市民人口減少防止対策等について



海老沼隆夫議員

**Q**

幸手団地は戸数三千超えで、空き部屋、高齢の一人暮らしも多くなっているが、都心には約1時間、駅からは徒歩10分、隣接して東埼玉総合病院、ヨークフーズ、団地内商店街など。都心に通勤通学する若者達にも住みやすい環境である。

幸手団地に限らないが、他の市町村から転入してくる市民に

**A**

対して、月額1万または2万円の家賃補助を、1年または2年間行う等の施策とそのPRを行う等、新たな市民受け入れの為の対策を考えられないのかを伺う。

当市においては、昨年6月に人口が5万人を下回り、とりわけ20代から30代前半までの人口流出が著しい傾向にあることから、若者夫婦世帯をターゲットとした、しあわせ

入拡大を図る方向で、関係者との協議を始めたところです。本市としましては、国や県の動向を注視しつつ、近隣市町の先行事例等から、持続可能で効果的な部活動の在り方について研究を重ね、令和5年度からの移行期間3年間で円滑に地域移行が進むよう努めて参ります。

家族ウェルカム補助事業を、令和4年度から実施している。

今後の人口減少対策については、現状人口の動態を分析するとともに、既存の事業の検証をしつつ、新たな移住定住促進施策について検討し、引き続き人口減少の抑制に努めてまいりますと考えている。

(総合政策部長)

杉戸町と幸手市の地域連携協定強化と今後は



木村治夫議員

**Q** (1)し尿処理管理業務・可燃ごみ処理管理業務等

の内容について伺う。

(2)し尿処理管理業務・可燃ごみ処理管理業務等、良好な関係で事業実施されているが、現状課題・検証等どのように対応されているのか伺う。  
(3)今後の自治体間の広域的な連携を活用した(仮称)地域づく

り促進検討会等を設置すべきと考え、杉戸町の見解を伺う。  
市民行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するために喫緊の問題である。

**A** 当市では、杉戸町のし尿を、杉戸町では当市の可燃ごみを相互に受け入れてい

る。両市町の処理施設とも経年劣化の傾向がみられることから、改修など今後の運営について協議していく必要がある。

また、今後の自治体間の広域連携については、現時点で予定はないが、従来の枠組みにとらわれず、あらゆる視点において住民の福祉の増進に寄与するものがあれば、議員から提案のあった(仮称)地域づくり促進検討会等も含め検討していく。  
(市長・市民生活部長)

市道や河川、水路等の市の維持管理は



武藤壽男議員

**Q** 昭和50年代より多額の経費により整備されてきた546kmを超える市道や308kmに及ぶ水路と河川があり、

経年劣化もあり、今後の維持管理が重要です。

殊に、調整区域に於いては、自治会を中心に慣例的に地先管理が行われてきましたが、米価の下落と高齢化、更に後継者不

足により、困難な状況となっております。

管理責任者である市は、これらのインフラ施設の修繕、改修などの維持管理には多額の経費も必要ですが、市の今後の維持管理計画について伺います。

**A** 幹線道路は維持管理計画に基づき計画的に舗装

修繕を行っており、生活道路はパトロール等により損傷箇所を発見したらその都度修繕を行っ

ています。

河川についても維持管理計画に基づき計画的に維持管理を行っております。

水路については維持管理計画はありませんが、その必要性は認識しています。また、現状把握するため水路台帳の整備も必要と考えています。今後、これらの整備に取り組んでまいります。  
(建設経済部長)



## 幸手市議会 「議会報告会」について

- 今年度の「議会報告会」は中止します  
令和4年度の「議会報告会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いたします。
- 「議会報告会」とは？  
幸手市議会では、市民の皆様と市議会議員とが、直接市政全般について、自由に情報交換および意見する場として「議会報告会」を毎年、実施してきました。

## 幸手市議会について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- 今年度の「議会報告会」を中止としたことから、来年度以降の開催に向けて、参加者の増大および内容の更なる充実を図ること、そして今、市議会に対してのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います。
- 【例】
- 市議会だよりをもっと見やすくして欲しい。
  - 本会議で傍聴者にも細かい資料を配布して欲しい。
  - 市民の関心が高まるような議会報告会となる工夫をして欲しい。

## 提出方法

下記のメールアドレス、ファックスで送信してください。  
回答は議会だより令和5年2月号をもって掲載いたします。

- ◎ Eメール [gikai@city.satte.lg.jp](mailto:gikai@city.satte.lg.jp)
- ◎ F A X 0480-42-8824
- ◎ 提出期限 令和4年11月30日(水)



## 県営権現堂公園2号公園オープンについて



枝久保喜八郎議員

Q

「幸手市のアイデンティティを同公園に」の観点で伺います。

①市役所に設置されている著名人の手形を移設して、来園者に喜ばれる名物かつイメージアップに。

②事務的、管理的な公園名称の愛称変更は可能か。

③開園間近で指定管理業者の準備態勢は。

A

④東武鉄道の社内広告で宣伝効果を図ることは。  
⑤市民まつりの同公園での開催で市民の立場に立ったデメリットを思慮したか。

①手形の移設については、今後、幸手青年会議所と協議する。

②公園の愛称については、今後、埼玉県と協議していく。

③開園に向けての準備態勢は、

現在、埼玉県と指定管理者との間で業務内容を調整中である。  
④東武鉄道の車内広告を活用し、積極的にPRしていきたいと考えている。まずは、埼玉県や指定管理者と相談する。  
⑤商工会等とデメリットについても協議し、今年度は公園での開催に至った。

(副市長・建設経済部長)

# 令和4年9月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)  
(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 四本奈緒美	2 坂本達夫	3 海老沼隆夫	4 小林英雄	5 枝久保善八郎	6 宮杉勝男	7 本田謡子	8 小河原浩和	9 小林啓子	10 松田雅代	11 木村治夫	12 藤沼貢	13 青木章緑	14 武藤壽男	15 大平泰二		
議案第31号	令和3年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第32号	令和3年度幸手市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第33号	令和3年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員認定	
議案第34号	令和3年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定	
議案第35号	令和3年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定	
議案第36号	令和3年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定	
議案第37号	令和3年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定	
議案第38号	令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数認定	
議案第39号	令和3年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定	
議案第40号	令和3年度幸手市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定	
議案第41号	幸手市職員の育児休業等に関する条例及び幸手市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決	
議案第42号	幸手市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決	
議案第43号	幸手市議会議員及び幸手市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例及び幸手市議会議員及び幸手市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決	
議案第44号	幸手市手数料条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第45号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第46号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第47号	公の施設の利用に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第48号	埼玉東部消防組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第49号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決	
議案第50号	令和4年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第51号	令和4年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第52号	令和4年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決	
議案第53号	令和4年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決	
議案第54号	令和4年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決	
議案第55号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意	
議案第56号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決	

議会広報編集委員	委員	長	宮 杉 勝 男
	副委員	長	小 林 啓 子
	委員		四 本 奈 緒 美
	委員		坂 本 達 夫
	委員		海 老 沼 隆 夫
	委員		本 田 謡 子
	委員		小 河 原 浩 和
	委員		松 田 雅 代

## 編集後記

9月30日、埼玉県における「BA.5対策強化宣言」が終了となりました。幸手市の11月の催しは、3日の幸手市消防特別点検、5・6日の幸手市文化祭、5～10日の幸手市健康福祉まつり(展示のみ)です。

さて、行楽の秋の到来です。今までの規制から、少しずつ解き放され、旅行に出かける方も多いことでしょう。行動範囲は広まりますが、基本的な感染予防対策(咳エチケット、手洗い、マスク着用ルールなど)の徹底をよろしくお願い致します。